

宮代町郷土資料館だより

えんがわ

第4号

祝 宮代町生誕40年

昭和30年7月20日、この日は私たちの住む「宮代町」が生まれた日です。

「宮代町」は須賀村と百間村が合併してきました。町名は皆さんもご存じのように、姫宮神社の「宮」の字と、身代神社の「代」の字をあわせて「宮代」としたのがその由来です。

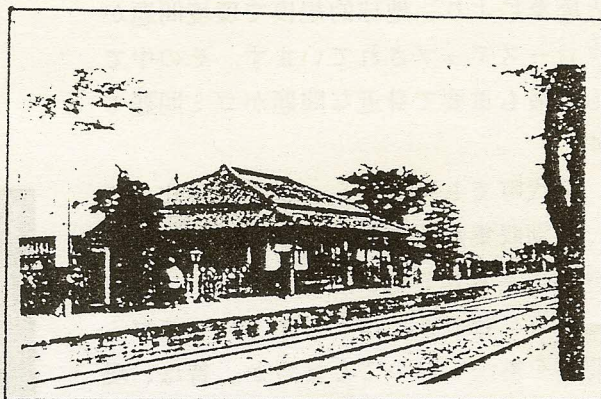
宮代の土地に人が住み始めたのは、今から約14,000年も昔のことだと考えられています。そのはるか昔から続く宮代の歴史の中には、古墳時代の「鍛冶工房跡」や平安時代の「阿弥陀三尊像」などをはじめとした興味深いものがたくさんあります。また、江戸時代の中頃に始められたとされる町指定文化財「東条原鷺宮神社獅子舞」は、地元の方々の努力により今なお伝えられています。

このような歴史・文化が元になり、明治・大正時代から昭和にかけて発展してきたわけです。一口に町制施行40周年

といっても、この40年の中にはさまざまなドラマがあるようです。

資料館では、今年の11月から特別展「みやしろのあゆみ」を行います。

この展示では、宮代町がうまれてから現在までの歴史のなかから、いくつかの〈ドラマ〉を皆さんに紹介していこうと考えています。詳しくは、次号をお楽しみに。



昭和初期の杉戸駅（現在の東武動物公園駅）

ワンポイント展示の案内

『宮代の獅子』

～東条原鷲宮神社獅子舞250周年記念～

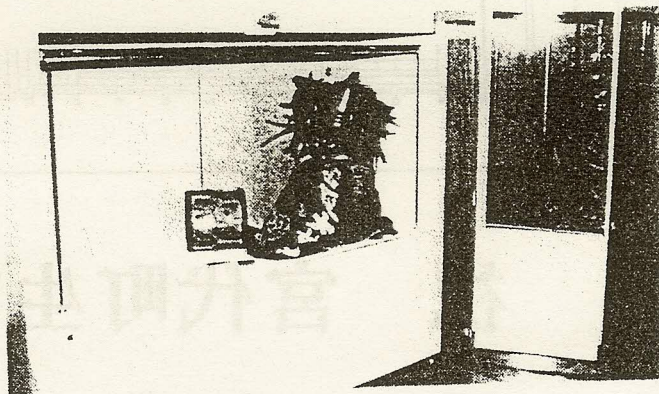
江戸時代の享徳2年（1745）頃に舞始められた、東条原鷲宮神社の獅子舞が今年で250周年を迎えます。宮代町郷土資料館ではこれを記念してワンポイント展示「宮代の獅子」を開催しています。

この獅子舞の由来は、新田開発により村々の景観を変えたため、神様の怒りを招き疫病などが流行しました。それを鎮めるため獅子舞を習い、奉納したのが始まりと伝えられています。

この他に、町内では9地区で「お獅子様」と呼ばれる民俗行事が行われています。これは、案内役を天狗が行い、触れ

太鼓をたたきながら、地区の各家を回って、厄をはらう行事です。

今回は、獅子舞の獅子頭と「お獅子様」の写真パネルを展示しました。



企画展

『リサイクル展』のご案内

9月13日～10月22日

私たちは、戦後の経済復興と高度経済成長の時代をむかえ、大量生産、大量消費を当然の事として行動して来ました。しかし、現在、無秩序な資源の大量消費と廃棄により、地球的規模で環境問題がクローズアップされています。その中でも、最も重要で身近な問題がゴミ問題です。

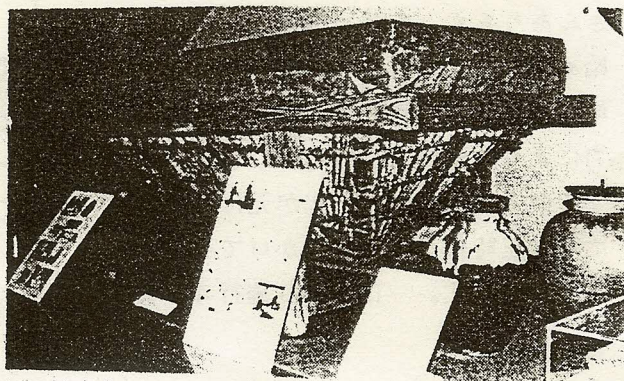
宮代町でも昨年から、より細分化された分別収集が始まり、リサイクルが生活の中に定着して来ました。

一方、昔の人々はどのようにしてゴミ問題を解決したのでしょうか。昔は、現代のように生産者と消費者の区別が明瞭ではないため、リサイクルが経済活動の

一環として生活に密着して行われていたようです。

今回の企画展では、縄文時代から昭和20年代にいたる生活に密着した「リサイクル」を取り上げてみたいと思います。

展示予定の資料は、縄文時代に作られた土器の転用例や紙が貴重品だったころ転用された古文書などです。

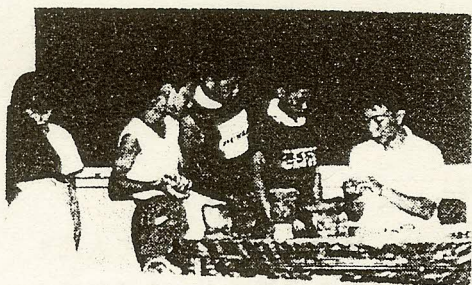


土器づくり教室のご案内

～縄文土器を作ろう～

郷土資料館では昨年と同様に縄文土器づくり教室を開催いたします。今回は小学生対象におこないます。皆さんも夏休みの記念に縄文土器を作ってみませんか？

日時 土器づくり＝7月30日（日）
午後1時30分から
土器焼き＝8月27日（日）
午後1時30分から
雨天の場合、
8月29日（火）

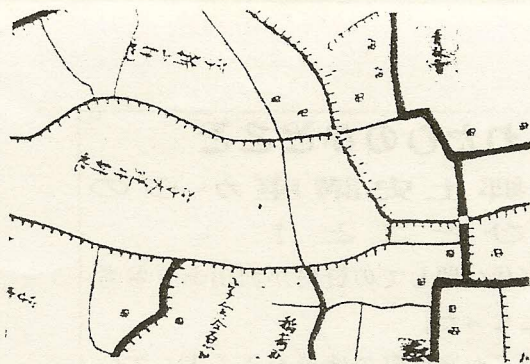


対象 小学生
(親子での参加もできます)
定員 30名(申込順)
持ち物 タオル・汚れてもよい服装
受付期間 7月7日(金)から

収蔵資料の紹介 地籍図(ちせきず)

地籍図とは、明治6年(1873)の地租改正のときに初めて作られた、一筆ごとの土地の区画形状・地番・面積などを記載した土地台帳付属の地図です。小字単位で分けられており、旧来の河川・堀・沼・道路・屋敷地などを推定するうえで非常に貴重な資料です。

今回紹介する地籍図は、明治10年(1877)に作成されたもので、道仏の



岩崎家文書の中に収録されています。

戦後の都市計画や農地改良、団地造成などにより、昔から伝わる土地の形態や高さなどが変化してしまいましたが、この地籍図は、明治初年の宮代町の様子を土地の区画状況から語る上で欠くことができないものです。

これ何だべな？

あれっ！土蔵に戸が2つあるぞ？

旧斎藤家の敷地内には土蔵と米倉が建っています。土蔵の入り口には、2つの戸があります。向かって左側の戸は木でできています、右側の戸も同じく木でできていますが、戸の表面が固くまるで石のようです。この土蔵にはなぜ戸が2つあるのでしょうか？

ふだんは左側の戸を使い、ある時だけは右の戸を使います。前にもいいましたがこの戸は土蔵の壁と同じ材質の物を塗ってあり、燃えにくくなっています。そのため母屋が万が一火事になったときは右側の戸を閉めます、その昔土蔵は今で言う金庫の役割を果たしていました。大切な財産が灰にならないためにこの戸によって炎をシャットアウトしたのです。

また、土蔵自体も土で塗り込められていますから、燃えにくく、米倉も同じ造りです。今でいう防火戸が昔もあったのです。

わたしのひとこと

郷土史講座からの ひとこと！

- ・宮代に関しての資料が沢山あり参考になった。
- ・地名が宮代町の地形をよく表している様子が分かっておもしろかった。
- ・自分達の住んでいる町を知るということはこんなにおもしろく素晴らしいということが分かった。
- ・宮代の歴史が少し分かったような気がします。
- ・身近な行事、お祭りなど聞きおぼえのあるものもでてきてあらためて知ることができました。
- ・昔の習慣を知ることができた。

資料寄贈者名簿

平成7年4月から7月間での3カ月の間に民具や古文書等の資料を寄贈していただいた方は下記のとおりです。厚く御礼申し上げます。

ご寄贈いただきました資料は今後「収蔵品展」等でご紹介させていただきます。

(50音順・敬称略)

新井 尚	民具
伊草 稔	板碑
折原 茂	民具
成田総一	民具

今後も、昔を語る様々な資料を収集してまいりますので、ご協力の程、お願い申し上げます。

資料館日誌

4月 1日 ワンポイント展示

「時は明治そのころ学校では」

ステージ展示「お茶づくり」(6月上旬まで)

4月13日 姫宮神社遺跡試掘調査(4月19日まで)

5月 5日 旧斎藤家住宅開館

5月14日 町のあゆみ講座「宮代の地名と環境」

5月21日 町のあゆみ講座「戦国時代の有力者たち」

5月28日 町のあゆみ講座「西光院とみやしろ」

6月 4日 町のあゆみ講座「実りを求めて」

6月11日 町のあゆみ講座「宮代の民俗」

6月14日 ワンポイント展示「宮代の獅子」(7月30日まで)

6月18日 町のあゆみ講座「宮代町の誕生」

(予定)

7月16日 町指定文化財 東条原の獅子舞

7月30日 土器づくり教室「土器づくり」(小学生)

8月 1日 ワンポイント展示「土器再現」(9月10日まで)

8月27日 土器づくり教室「土器焼き」(小学生)

9月13日 企画展「リサイクル展」(10月22日まで)

9月17日 土器づくり教室「土器づくり」(町民)

10月 8日 土器づくり教室「土器焼き」(町民)

コラムークルミの木ー

◆“夏”は、植物も動物もそして人間も最も活動的になる季節です。◆活動的といえは、7・8月は、夏休みの月です。皆さんは自由研究の宿題を何か考えましたか？◆夏の資料館は、土器づくり教室やワンポイント展示「土器再現」、企画展「リサイクル展」など、お楽しみがいっぱいです。◆ふれ愛センターで遊ぶついでに、資料館で宿題をやっつけてしまおう、というのはどうでしょうか。

宮代町郷土資料館だより 第4号

発行年月日 平成7年7月1日

編集発行 宮代町郷土資料館

☎345

埼玉県南埼玉郡宮代町

字西原289番地

☎0480-34-8882